



# 冬休みの推せん図書（5・6年）



平成29年12月 杉教研学校図書館部

冬休みに、家でじっくり本に触れてみませんか。いつもと違った本を手にとって、新しい世界に飛び出してみましょ。

## 「夢へ翔けて」

ミケーラ・デプリンス ポプラ社

アフリカのシエラレオネの戦争孤児だったミケーラ・デプリンス。生きる原動力となっていたバレリーナへのあこがれを忘れず、黒人への差別をはねのけて、プロのバレリーナになっていく自伝です。夢を見続けること、前向きに生きることのすばらしさが伝わってくる1冊です。

## 「いたずらっ子がやってきた」

カトリーナ・ナネスタッド さえら書房

インゲは、いたずらが大好きな十歳の女の子。にぎやかなコペンハーゲンから、おばあちゃんの住むバルト海の孤島にやってきました。おばあちゃんは厳しく、いつも不機嫌です。でも、インゲのいたずらが退屈な島の住民を巻き込み、やがて島に大きな変化をもたらすことに……。

## 「本当はすごい森の話

林業家からのメッセージ」

田中 惣次 少年写真新聞社

林業という仕事を知っていますか。この本の作者は、檜原村の林業家です。森林のこと、林業のことを分かりやすく説明してくれています。私たちの生活になくはならない森林ですが、後継者問題や木材の価格問題、荒れた山についてなど課題はたくさんあります。これから私たちにできることは何か、環境について考えるきっかけになる本です。

## 「ギュレギュレ！」

斉藤 洋 偕成社

「ギュナイドゥン！」マンション5階に一人暮らしするわたしのところに、ある日突然謎のトルコ人の商人が現れます。彼は「空飛ぶ玄関マット」や「見えない島」、「電気雲」など、あやしげなものを売りつけていきます。謎の商品は一体どこからくるのか？彼の正体は？不思議な7つの話の最後に分かる、これまた不可思議な事実。妙に日本語に詳しい彼とのやり取りも面白いです。

## 「えほん遠野物語 ざしきわらし」

柳田 国男 原作 汐文社

ざしきわらしを知っていますか？この神がすむ家は栄えると言われます。この本では、二人の幼い女の子の神が出てきます。白い蛇、きのこ、そしてその家は…。遠野に伝わるちょっと怖い話を絵本で楽しんでみてはいかがですか。

## 「あたしの、ポケのお姫様」

令文 ヒロ子 ポプラ社

漫才師を目指す中学2年生のまどかは、転入生のるりりと意気投合してコンビを組みます。最高のパートナーを見つけ、運よくテレビ出演も果たしますが、コンビ解散の危機に…！？明るく見えるるりりにも大きな悩みがあり、果たしてどうなるのか、テンポのよい展開でつつい読み進められます。

その他のおすすめの本

本の名前	著者名	出版社
かがやく昆虫のひみつ	中瀬 悠太	ポプラ社
外来生物ずかん	五箇 公一（監修）	ほるぷ出版
カミカミおもしろだ液学 だ液は健康を守る“まほうの木”	岡崎 好秀	少年写真新聞社
ラマダンのお月さま	ナイマ・B・ロバート	解放出版社
大阪城 絵で見る日本の城づくり	青山邦彦	講談社
ケンガイにっ！	高森 美由紀	フレーベル館
ジョージと秘密のメリッサ	アレックス・ジーノ	偕成社
ぼくとベルさん	フィリップ・ロイ	PHP研究所
三島由宇、当選確実！	まはら 三桃	講談社
ほんとうにあったオリンピック ストーリーズ	日本オリンピック・アカ デミー監修	講談社（青い鳥文庫）